

東京都が大江戸線延伸に関する現在の検討状況を公表しました！

東京都は、令和5年3月に大江戸線延伸にかかる庁内検討プロジェクトチームを立ち上げ、大江戸線延伸について検討を進めています。今回は、10月15日に都が公表した検討状況の概要をご紹介します。

検討経過と都プロジェクトチーム公表内容のポイント

検討経過（都区間の実務的協議）

平成27年 【都・区】実務的協議開始
 令和 5年 3月【東京都】副知事をトップとする都のプロジェクトチーム設置
 【練馬区】東京都へ、課題解決策を提案
 令和 7年 3月【東京都】プロジェクトチームがこれまでの検討をとりまとめ
 10月【東京都】プロジェクトチームが現在の検討状況について公表

大江戸線延伸が
大きく前進！

都プロジェクトチーム公表内容のポイント

● 現時点での試算結果

概算事業費 : 約1,600億円(税抜き) 旅客需要 : 約6万人増/日
 費用便益比(B/C) : 1以上 収支採算性 : 累積損益収支黒字転換年 開業から40年以内

一定の条件を仮定した試算で、課題であった **事業性(B/Cと収支採算性)の改善**を確認

● 路線概要



● 手続き等のステップ

事業計画案の作成

事業化に向けた手続き

事業着手

工事

開業

出典：「＜大江戸線延伸にかかる庁内検討プロジェクトチーム＞現在の検討状況について(令和7年10月)」(東京都交通局)

まちづくりだよりの内容に関して、ご意見・ご質問のある方は下記お問い合わせ先まで、ご連絡ください。
 また、このまちづくりだよりは地区内に土地・建物を所有されている方にもお送りしています。
 所有状況に変更があった場合は、お手数ですがお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

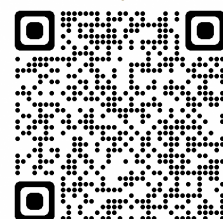
練馬区 都市整備部 大江戸線延伸推進課
 本庁舎16階 4番窓口

TEL : 03-5984-1584 (直通)

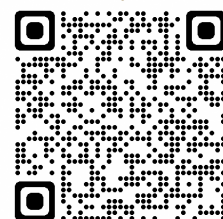
FAX : 03-5984-1226

Eメール: ENSHIN@city.nerima.tokyo.jp

延伸の概要
はこちら



延伸地域のまちづくり
はこちら



(仮称)大泉町駅予定地周辺地区 まちづくりだより

Vol.
03

令和7年12月発行

発行：練馬区 都市整備部 大江戸線延伸推進課

(仮称)大泉町駅予定地周辺地区

第2回まちづくり協議会を開催しました！

令和7年10月30日（木）の第2回協議会では、まちづくりの目標(案) ➡ **開催内容①** や、地区内道路ネットワーク、新駅周辺へのアクセスについて ➡ **開催内容②** 意見交換を行いました。



協議会の様子

開催内容① まちづくりの目標（案）について

「まちづくりの目標」は、「まちづくり基本構想※」において将来のまちの姿を言葉で分かりやすく示すものです。第2回協議会では、目標を作成するうえで大切にしたいキーワードや追加したい要素などについて話し合いました。

※本地区の将来像や今後のまちづくりの方向性を示す計画（令和8年度末策定予定）

■「まちづくりの目標」検討の流れ

第1回協議会（8月28日開催）

- 今後のまちづくりの方向性に関するキーワードを検討

開催済

第2回協議会（10月30日開催）

- 前回協議会でのご意見を踏まえて作成した事務局案をもとに議論

開催済

〈主なご意見〉

- **みどり**は大泉町らしさを表すキーワードだと思う。具体的には、野菜・果樹や、楽しめるみどり、身近（まちなか）にあるみどりなどがある。
- **良好な住環境**や**暮らしやすさ（誰もが暮らしやすい）**の視点は特に重視したい。現在の地域の良いところは残しつつ、新駅開業によって人やモノ、まちがつながっていくイメージを持っている。
- **地域の人たちが安全・安心に暮らせる**まちになることが前提。その上で、**生活の利便性**や**活気**といった要素も大切にしたい。
- **未来を担う子どもたちや人々**はまちの発展に欠かせない。

意見交換会（3月上旬開催予定）

- まちづくり協議会での検討内容等をお伝えし、広く地域の皆様からご意見をいただきます。

ご意見等を踏まえて検討

「まちづくりの目標」とりまとめ（「まちづくり基本構想」策定時）



第2回協議会では、地区内道路ネットワークについて新駅開業後の移動経路をイメージするとともに、特に新駅周辺へのアクセス（外環側道）に着目して意見交換を行いました。今後、いただいたご意見を踏まえてまちの課題を整理し、まちづくりの方針について検討を進めていきます。

<テーマ1 地区内道路ネットワークについて>



意見交換のテーマ

- ✓ 新駅開業後、お住まいのエリアから新駅周辺へアクセスする場合どのような経路を使うかイメージする
- ✓ 地区内の生活道路ネットワークについて考える

■主なご意見

南北の軸がつながることで、もみじやま公園等北側エリアと新駅周辺の行き来がしやすくなるなど、アクセスが改善すると思う。

新駅周辺へのアクセスについてはさらに意見交換を行いました。
⇒テーマ2へ！



- （仮称）大泉町駅予定地周辺地区
- 生産緑地地区
- 都市計画道路（点線は副道区間）
- 将来の地区内生活道路ネットワーク
- 新駅予定位置

らんとう坂は急坂で、悪天候時は通行止めになるのが困る。渋滞や狭い歩道も課題。

地区東側は比較的通行しやすい。

<テーマ2 新駅周辺へのアクセスについて（外環側道）>



意見交換のテーマ

- ✓ 新駅周辺へのアクセスについて、外環側道のネットワークイメージごとに良いと思う点・課題だと思う点を考える

■主なご意見

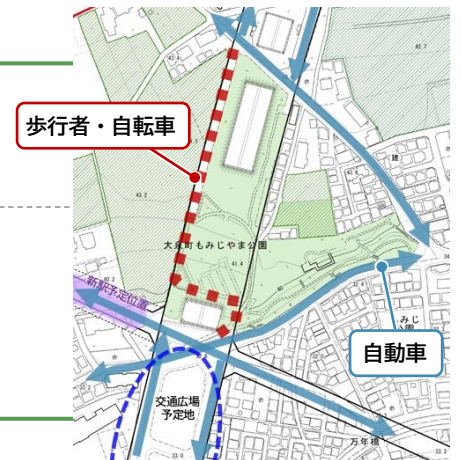
ネットワークイメージ① 現状を維持した場合（外環側道は整備しない）

良いと思う点

- ・大規模な整備を伴わないため、お金があまりかからない。

課題だと思う点

- ・通路が狭く、自転車が通行しにくい。
- ・新駅周辺へのアクセス経路として整備されていないため、公園利用者以外は通りづらい。



ネットワークイメージ② 歩行者と自転車が通行可能な道路を整備

良いと思う点

- ・歩行者・自転車利用者は迂回せずに南北の移動ができるため便利になる。
- ・車が通らないので、歩行者・自転車が安全に移動できる。（通学路になるかもしれない）
- ・もみじやま公園へのアクセスが、今よりしやすくなる。

課題だと思う点

- ・広幅員（18m）の補助230号線の横断に課題がある。



ネットワークイメージ③ 歩行者・自転車と自動車が通行可能な道路を整備

良いと思う点

- ・自動車はらんとう坂を通らないで南北の移動ができる。

課題だと思う点

- ・公園の中で大規模な工事をすることになる。また、もみじやま公園が狭くなる。
- ・自動車の通過交通が増えることへの懸念がある。
- ・新たな車道ができて交差点が増えると危ないのではないかな。

